事例No.	948
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	熊本県宇城市

事例区分	公会計

タグ	・適切な資産管理 ・情報開示 ・公共施設活用

事例種類	適切な資産管理

事例内容・タイトル

工事費用を建物と附属設備に按分する様式例

出典

地方公会計の推進に関する研究会（令和元年度）報告書

また、固定資産台帳の更新の際に、建物と附属設備を一体的に計上している団体においては、内容の精緻化に向けて、原則に従って、建物本体と附属設備を耐用年数に応じて分類して計上することが必要である。

資産を形成する支出を行い、資産計上する必要が生じた際には、費用按分を的確に行うべく、各施設担当課において按分作業が円滑に行えるよう、統一的な様式を作成し、庁内共通で使用することが方策の一つとして考えられる。こうした様式を定める際には、以下のような区分・按分ができるものであることが必要である。

・建物本体と附属設備を区分できること
・耐用年数が異なる附属設備（電気設備、空調設備、給排水設備等）を区分できること
・共通仮設費や実施設計委託費等の共通経費を按分できること

例えば、工事の契約金額全体について、直接工事費の工事の内訳書の情報をもとに建物本体と附属設備に分割し、この比率に基づき、共通仮設費や設計委託料等の関連経費も按分し、耐用年数が異なる資産ごとに資産計上がされるような様式を用意することが考えられる。

工事費用を建物と附属設備に按分する様式例（熊本県宇城市）

資産取得原価算定表（建物）

1. 当該工事費　　単位（円）

番　号		年　度（西暦）	2018
工事契約番号	宇城第A-3号	引渡年月日（西暦）	2019/3/1
工事名称	●●施設整備工事		
工事場所	松橋町〇〇100番地		
工事概要	建物本体建設、コンテナハウス建設、建物附属設備（電気設備、空調設備）工事、外構工事		
直接工事費（税抜）	66,000,000	(A)	
最終請負額（税込）	92,000,000	(B)	
共通仮設費等	26,000,000	(C)　(B)-(A)	

3. 関連経費（設計業務委託料など ※土地購入費及び補償費を除く）　　単位（円）

契約番号	委託業務等名称	金額（税込）
宇城第A－1号	測量設計業務委託	7,700,000
宇城第A－2号	設計監理業務委託	2,600,000
合　　計		10,300,000

(D)

2. 直接工事費の内訳　　工事設計書等を活用　白枠に入力　青枠に集計　②+(C)×直工按分率　③+(D)×直工按分率　　単位（円）

施設・設備名	直接工事費 ①	資産台帳登録単位の集計 ②	共通仮設費等配賦後 ③	関連経費配賦後【資産取得原価】	関連経費按分率 ④	摘要1	摘要2
建築工事	40,000,000						
●●施設（建物）集計		40,000,000	55,757,576	62,000,000	60.606%		
建築工事	5,000,000						
コンテナハウス集計		5,000,000	6,969,697	7,750,000	7.576%		
電気設備工事	9,000,000						
空調設備工事	9,000,000						
●●施設（設備）集計		18,000,000	25,090,909	27,900,000	27.273%		
外構工事（フェンス、塀）	3,000,000						
外構集計		3,000,000	4,181,818	4,650,000	4.545%		
計	66,000,000	66,000,000	92,000,000	102,300,000	100.000%		

（天川委員提供資料）